

# デイビゲル®1mgの使い方

デイビゲル<sup>®</sup>1mgは卵胞ホルモン剤と呼ばれるグループに属する、皮膚から吸収されるタイプの塗り薬です。

デイビゲル<sup>®</sup>1mgは不足した卵胞ホルモンの一種（エストラジオール）を補うことにより、更年期障害などに伴う症状を軽減します。また、生殖補助医療におけるホルモン補充周期の調整などに使用します。ご使用前にこの説明文書をよくお読み下さい。

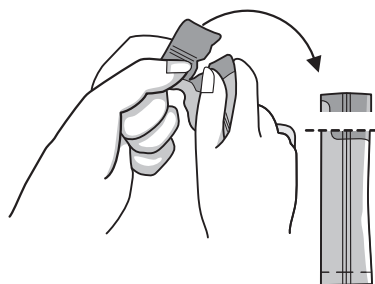
医師の指示に従って使用して下さい。

あらかじめお薬を塗る場所をよく拭いて、水分や汚れを十分に  
取り除いて下さい。

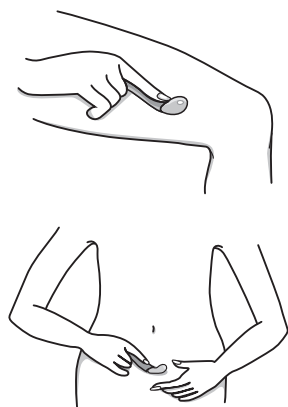
※ 分包(銀色の小袋)の中にお薬(エストラジオール)が1mgずつ入っています。

## 1. 開封する

このお薬はやわらかいゲル状ですので、お薬の入っている小袋を図のようにタテに持ち、切れ目に沿って完全に切り取って下さい。



※ 開封後は速やかに使用して下さい。



## 2. しぼり出す

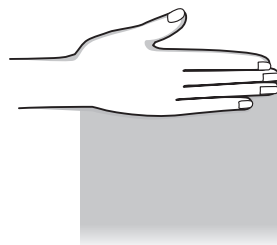
図のように左右どちらかのふともも、または下腹部に直接、または手に取って、中のお薬をすべてしぼり出して下さい。

※ 患者さまご自身の手で塗って下さい。

## 3. 塗り広げる

速やかに、この紙の大きさを目安に400cm<sup>2</sup>程度に均一に塗り広げて下さい。

※ 十分な効果を得るために、塗り広げる面積をお守り下さい。



同時に複数の小袋を使用する場合は、各小袋につき400cm<sup>2</sup>程度になるように、塗る場所を分けて塗り広げて下さい。

この紙の大きさは400cm<sup>2</sup>になっています。

裏面も必ずお読み下さい。

# ディビゲル<sup>®</sup>1mgの使用時の注意

## 【塗るときの注意】

- ☐ お薬を塗る前と塗った後は手をよく洗って下さい。
- ☐ キズ、湿疹・皮膚炎等(ひどい乾燥や日焼けなども含む)がある場合は、お薬がその場所に触れないように注意して塗って下さい。
- ☐ このお薬は、アルコールを含んでいるため、アルコール過敏症の方は、かぶれ、発疹等の過敏症状があらわれることがあるので注意して下さい。
- ☐ お薬を塗る場所を清潔にしてから塗って下さい。
- ☐ なるべく日ごとにお薬を塗る場所を変えて塗って下さい。
- ☐ 胸、顔、外陰部や粘膜には塗らないで下さい。
- ☐ 目に入らないように注意して下さい。目に入った場合は、すぐに流水で洗い流して下さい。

## 【塗った後の注意】

- ☐ お薬を塗ってから数分間乾かして下さい。また、塗った場所は1時間以内に洗淨しないで下さい。
- ☐ 塗った直後は塗った場所を他人に触れさせないで下さい。
- ☐ このお薬はアルコールを多く含んでいるため、塗った後は十分換気を行い、お薬が乾くまで火気あるいは喫煙を避けて下さい。
- ☐ 保湿クリーム、日焼け止めクリームはお薬を塗った場所に同時に使用しないで下さい。

## 【保管上の注意】

- ☐ お子さまの手の届かないところに保管して下さい。
- ☐ 捨てる際にもお子さまが誤って触れない(塗らない、口にしない)ように注意して下さい。
- ☐ 車の中や直射日光の当たる場所など、高温を避けて保管して下さい。

## 【治療を受ける際の注意】

- ☐ 本剤を生殖補助医療におけるホルモン補充周期の調整などに使用する場合は、黄体ホルモン剤の併用が必要となります。また、更年期障害で使用する場合は、子宮のある患者さまに対しては、子宮内膜増殖症を防ぐために黄体ホルモン剤の併用が推奨されています。
- ☐ 外国では卵胞ホルモン剤の飲み薬に関して以下の報告があります。
  - ◆ 卵胞ホルモン剤と黄体ホルモン剤を併用した場合、冠動脈性心疾患になる危険性が高くなる。また併用の期間が長くなるにしたがって乳がんになる危険性が高くなる。(更年期障害で使用する場合)
  - ◆ 65歳以上の女性に卵胞ホルモン剤と黄体ホルモン剤を併用した場合、アルツハイマーを含む認知症になる危険性が高くなる。
  - ◆ 卵胞ホルモン剤と黄体ホルモン剤を併用した場合、卵胞ホルモン剤のみを投与した場合ともに、脳卒中(主に脳梗塞)になる危険性が高くなる。

以上の報告を受けて、このお薬に関しても飲み薬と同様の注意を払い、必要以上に長期間使用することがないように医師の指示にしたがって下さい。またこのお薬と黄体ホルモン剤を併用する場合は、併用の必要性や注意する点などについて医師から十分に理解できるまで説明を受けて下さい。

- ☐ 定期的および必要に応じて、乳房検診、婦人科検診(子宮を有する患者さまは子宮内膜細胞診および超音波検診による子宮内膜厚の測定を含む)など患者さまの安全性の確認に必要な検査が行われます。必ず受診して下さい。(更年期障害で使用する場合)
- ☐ このお薬による治療の継続や終了(治療の期間)については、医師が患者さまとご相談の上、一人一人のリスクとベネフィットを考慮して決定します。自己判断により、使用の継続・中止や、量の加減を行わず、医師の指示に従って下さい。

## 【その他の注意】

- ☐ 飲用しないで下さい。

なにか異常が認められた場合にはお薬の使用を中止し、すぐ医師にご相談下さい。その他、このお薬及びホルモン補充療法に関するお問い合わせは担当の医師または薬剤師におたずね下さい。

製造販売元

サンファーマ株式会社

東京都港区芝公園1-7-6